

北西太平洋サンマ中短期漁況予報

-分布回遊状況解析調査に基づく実用化試験-

1. 今後の見通し

予測期間：2003年10月中旬から11月下旬までの旬別

対象海域：道東海域、三陸海域、常磐海域

対象漁業：さんま棒受網漁業

対象魚群：南下回遊群

1) 道東海域

(1) 来遊量：10月中旬～10月下旬は、高水準ながら低下傾向となり、11月上旬には中位水準となる。11月中旬は低位水準へと減少し、11月下旬に断続的となる。

(2) 漁場：10月中旬以降は襟裳岬南沖が主漁場となる。

2) 三陸海域

(1) 来遊量：10月中旬には減少傾向となり、10月下旬は中位水準となる。11月上旬には一時低下するが、11月中旬には再び増加し、11月下旬も中位水準を維持する。

(2) 漁場：10月中旬以降は南偏傾向となり、11月下旬以降は南部主体となる。

3) 常磐海域

(1) 来遊量：10月中旬まで低水準であるが、10月下旬には増加傾向となりピークに達する。11月上旬には中位水準を維持するが11月中旬には低下傾向となり、11月下旬には平年並みの水準で推移する。

(2) 漁場：10月中旬には、常磐南部～犬吠周辺で形成される。10月下旬～11月下旬は鹿島灘・犬吠周辺が主漁場となる。

2. 予測の概要

海 域		10月中旬	10月下旬	11月上旬	11月中旬	11月下旬
道東海域	来遊量	→	→	→	→	→
	動向	高位低下	高位低下	中位水準	中位低下	断続的
	漁 場	襟裳岬南沖	襟裳岬南沖	襟裳岬南沖	襟裳岬南沖	襟裳岬南沖
三陸海域	来遊量	→	→	→	→	→
	動向	高位低下	中位横這	中位減少	中位増加	中位水準
	漁 場	南偏傾向	南偏傾向	南偏傾向	南部	南部
常磐海域	来遊量	→	→	→	→	→
	動向	低位水準	増加傾向	中位横這	中位減少	低位水準
	漁 場	常磐南部～犬吠周辺	鹿島灘・犬吠周辺	鹿島灘・犬吠周辺	鹿島灘・犬吠周辺	鹿島灘・犬吠周辺

3. 漁況の経過概要

(9月下旬)

1) 道東海域

- (1) 来遊量: 資源量指数から判断した来遊量の水準は、前期より急激に増加し、前年の4倍強に達した。1989年以降過去14年間と比較して最も高位の水準となった。また日別CPUEの推移から判断すると、期半ばに来遊量が多くなり、その後やや減少した模様。
- (2) 漁場: 漁場は、落石南沖～厚岸南沖と、釧路南沖～襟裳岬南東沖および黒崎のはるか沖合に分かれた。落石～霧多布南20海里～厚岸大黒島南60海里付近では、小型船・大型船ともに散発的に漁場となった。漁場水温は11～15台が主体。期前半は薄い群れが多く、灯付きはやや良好～やや不良であったが、期後半では濃い群れが多くなった。釧路南30～50海里～襟裳岬南東50海里では、大型船、小型船とも漁場となった。漁獲水温は11～15台と落石沖の漁場と同じであった。
- (3) 魚体: 魚体は大4 - 中4 - 小2～3 - 5 - 2が主体。体長30～31cm主体、体重160g台主体。期末には30cm位の大型魚の割合が低下し、26～28cmの中型魚の割合が増加した。